



ピッポ新聞

2005

11

No.203

子どもの本専門店

ピッポ

年間購読料 (送料込み) 1500円
編集・発行 伊藤俊男

〒424-0886 静岡市清水区草薙1-6-3
TEL & FAX 0543-45-5460

URL <http://www.pippo.co.jp>
Email pippo@diana.dti.ne.jp

古書組合に加入します

先日「古本屋になりたい人のための講座」(?)というのに参加しました。東京の古書組合が主催したのですが、後日この講座のことが朝日新聞に載っていましたから、お読みになった方もいるかも知れません。この会には全国から100人近くが参加しました。その一人でした。何故ぼくが参加したのかというと、その講座の中に「シユミレーションで本の模擬セリをやって、どのようなものを説明してくれる」とあったのです。

実は、ぼくは今月から静岡県の古書組合に加入させていただくことになったのです。組合に加入すると、全国何処の古本市(古本屋同士の入札会)でも参加できるのだそうです。実際に入札(本の交換会)に参加するようになるのです。そうすれば、いまのように苦勞せず古本の仕入れが出来るかと期待しているのですが・・・?

ところで、その講座でぼくも模擬セリ(セリと言っても魚市場のように声を出して競っていくのではなく入れ札で一番高い値の人が落札出来るというものでした)に参加したので。

そこには3つの山があり、それぞれテーマ別にまとまっています。一番大きな山は60冊くらいで、世界の歴史関係の本ばかりです。中には岩波の講座世界歴史全巻の揃いも入っています。で、ぼくはこれを1千円と1千6百円と付けました。値段を2つ書けるのです。ぼくの付けた値段は最初から失格でした。と言うのは、最低2千円からという決めごとを忘れてしまったのです。本当にドジですね。15人前後が参加したのですが、これを落札した人はたしか2万9千円ぐらに付けたのです。

最後に参加者が組合の人に尋ねたのです。「実際はいくらぐらいが妥当の値段ですか?」と、そうしたら何と答えたいと思いますか?「実はこの本は値段が付かない本なんです。持ち込んだ古本屋が処理費を払って古書会館に置いていった本」だということです。組合の人も人が悪!

でもね、何故この本が値が付かないかを説明してくれました。「岩波の世界の歴史はとても良い本だけど、今はこういう本を読む人が余りいなくなった事が一つ。もうひとつの理由はこういうアカデミックな本は団塊の世代の人たちが良く読んだのだけれど、これらの人たちが今、そういう本を処分することが多くてたくさん出回っている」と言うことです。これが値段が付かない理由だそうです。

そう言えば、ぼくも先日ブックオフで大月書店の「マルクス・エンゲルス全集」を見かけたのですが、何と、1冊105円でした。ま、全巻は揃っていませんでしたが、ほとんどの巻は有りました。余程買おうと思ったのですが、思いとどまりました。(売るためでなく自分の本としてですが)

そうそう、こんな事も話してくれました。間もなく定年期を迎える団塊の世代は本を多く読んだ人たちでもあり、蔵書もたくさんもっているのですが、定年後は古本屋でもやるかと考えるのだそうです。ところが、古本屋で一番駄目なパターンが自分の蔵書を元に始める人だそうです。最初の半年や1年はそれで良いかも知れないが、めばしい本が売れてしまった後はお手上げになってしまいうそうです。古本は買って売る事を繰り返さなければじきに行き詰まってしまうという忠告でした。

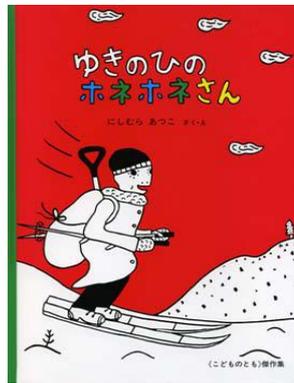
さて、ぼくはいよいよ今月から古書組合に加入して、神田やその他の古書の入札会に参加して子どもの本の古書を仕入れます。楽しみです。

乞うご期待!

ねー、この本読んだ？

まずは「こどものとも」傑作集の新刊を3冊紹介します。

『ゆきのひのホネホネさん』(にしむらあつこ・作 840円 福音館書店)
この「ホネホネ」さんの絵本は「年中版こ



どものとも」
として既に4冊出ています。最初が「ゆうびんやさんのホネホネさん」が出版されたが、これも傑作集

になっていきます。季節は夏、ホネホネさんは地面の中や水の中などに郵便を配達するのですが、この『ゆきのひのホネホネさん』では全く同じ相手に配達するのです。今度は季節は冬ですから夏の配達の方法や、配する内容も少し違っているようです。対

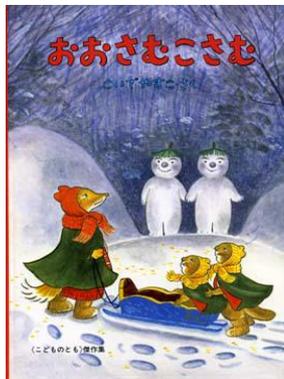
比して読むとさらにおもしろ味が増します。



『くものすおやぶんとりものちよう』(秋山あゆ子・作 840円 福音館書店)
背景にいろいろな昆

虫が着物を着て登場し、くものすおやぶんが、お菓子ドロポウを追っかけるというこの物語絵本は、昆虫が好きな子にも、捕物帖の好きな子にも、時代物が好きな子にも、お菓子の好きな子にも、絵のデテールを楽しみたい子にもこの絵本は答えてくれるよ。

『おおさむこさむ』(こいでやすこ・作 840円)



この絵本、遠方にいる2歳半の孫娘に送ってやったらところ、「わたし、こわいから寒いっていわないわ」とつぶやいていた由、その母親から連絡があった。幼い子がこの絵本をどう受けとめているのかが、垣間見えた気がしました。でもね、きつねのきつこも、いたちのちいとにいらぬ暖炉が燃えるおおばちゃんの暖かい家に無事帰り着いたのだから安心だよ、「聖奈」ちゃん!

つぎはフランソワーズの新刊を紹介しましょう。フランソワーズは「マリーちゃん」のひつじ(岩波書店)が1956年に出版されて以来、いまだに子どもに支持されています。この新刊も、アメリカで出版されたのは1940~50年代です。

『おおきくならなになになる?』(フラ



ンソワーズ・作 なかがわちひろ・訳 1260円 偕成社)
幼い子は一度や二度、いや、もつと、将来何

見ると、そんな幼い子のなりたい物を作ったフランソワーズは独特のやわらかな絵で描いて見せてくれる。この絵本に出てくる「ケーキ屋さん」なんかは今の子どももよくなりたがる職業だけど、作者がこの絵本を描いた頃と、現代の子どもたちの「なりたいもの」に違いがあるのかしら?



『わたしのすきなもの』(フランソワーズ・

作) なかがわちひろ・訳 1260円 偕成社)
右の絵本と同じで、今度は幼い子は自分の好きなものを思いえがくのである。幼い子たちの夢はなにかしら、ほほえましいし、あたたかいものを感じるよね。ここでも、時代と国の違いが感じられるよ。こどもたちの夢や心は今も残り変わらなくて、素晴らしいね。

『ありがとつえほん』(フランソワーズ・

作 なかがわちひろ・訳 1260円 借
 成社)
 幼い時から様々な事に感謝すると言つこと



までの生活の場面に出てくる物に「ありがとう」という幼子の姿に、大人も子どもも共感を覚えることだろう。

さて、フランソワーズの絵本が何故か立て続けに出版されているが、ここで現在出ている絵本を全部揚げておきます。

まりーちゃんといつじ	与田準一・訳	岩波書店
まりーちゃんといつじ	与田準一・訳	岩波書店
まりーちゃんとおおあめ(品切れ)	きじまはじめ・訳	福音館書店
まりーちゃんとおまつり	ないとうりえこ	徳間書店
みみちゃんとヤギのチケット	ないとうりえこ	徳間書店
ロバの子シュシュ	ないとうりえこ	徳間書店

はとてもいいな。宗教が背景にあるのかも知れないが、「ありがとう」は大切だよ。朝起きるところから、寝る

山里からの便り

「七面山敬順院の思い出」

あつという間に秋。夏は境界巡視とネイチャースクールで空前の忙しさ。何とか乗り越えやれ一休みと思いきや、タマネギの苗の注文票が配られ気持ちはずでに冬景色。雪の中の巡視が目につかびます。今年暖冬、小雪と長期予報がでていたので、それを信じてみましょう。

さて、境界巡視を始めて十年。今回はちよとおもしろい体験をしました。早川町に七面山という標高1982メートルの山があります。この山は日蓮宗の信仰の山で、身延山とセットになっていて、いまでも白装束に身を包んだ人びとがお経を唱えながら行列をなして登っています。身延山はロープウェイがあつて観光的な一面もあるのですが、七面山にはまったくありません。敬順院というお寺にお参りするためには、3時間半かけて登山道を登らなくてはなりません。標高差1250メートルはちよとあります。車道はなく敬順院の生活品は運材索道で運ばれます。参拝するのにこんなに徒歩時間がかかるお寺ってあるのでしょうか？

私たちはこの敬順院から山頂にかけての周囲4キロの境界線を巡視すべく、刈払い機と3日分の燃料、スプレー塗料(マーキングのため)を担ぎ、おもむきました。とてもかよふことができないので、敬順院に泊まることになっていました。それが宿坊になるとは、思っても見なかったのです。4時間掛かって着いた敬順院はその疲れも忘れさせる荘厳なもの

でした。檜皮葺きの本堂を中心に建ち並ぶ堂宇はここが山の上かとおもうほどで、いやはや信仰のなせる技としか言いようがありません。宿泊収容人数は1000人、昔は廊下までで、2000人泊まったそうです。私たちは業者用のプレハブに泊めてもらいました。食事は古色蒼然とした庫裡までいって、天井まで積まれたたくさんの膳の間をすり抜けて、精進揚げ、煮物、香の物が盛られた膳とご飯ジャー、みそ汁の入った木製の手桶をつけとりプレハブまで戻ってきました。朝も夕も遠くに聞こえる読経の中、食事をしました。

この読経もなかなか風情があり、特に夕方ヒグラシと鐘の音とともに聞くのは雰囲気が出てとても良かったです。感動的だったのはガソリンをもらうため乗せてもらったモノレールです。ミカン畑などにあるのと同じでした。庫裡と運材索道の荷揚げを行き来するのですが、運転席は遊園地などのお猿の電車状態でした。事務机ほどの広さの荷台にはゴザ、雨よけになりそうもないシート製の屋根、重心をずらすといつくり返るんじゃないかと思わせるようなモノレールに乗り、登山道をまたぎ、急斜面を十分ぐらい登ります。帰りはなんと、そのままバック。デイスニーランドには絶対ないアトラクションでした。

そう、ここは紛れもない信仰の山なのです。庫裡の内部の様子といい。お坊さん、寺男たち、賄いの人たちのキャラクターといい、下界とは違う異空間でも、それはどうしてもジブリ映画の「千と千尋の神隠し」の世界に見えてしまうのです。

3泊して無事仕事を終え、朝早く下山する時には、信仰心を持ち合わせていない私ですが、なんか頭を深ぶかと下げて、敬順院を後にしたのです。

(佐久間雅哉)

2006年の国内のカレンダー入荷!

インフォメーション

かれんだーのタイトル	作者	出版社と値段(税込み)
ぐりとぐら	中川李枝子・山脇百合子	福音館書店 1200円
うさこちゃん	ディック・ブルーナ	福音館書店 950円
のはらうた	くどうなおこ・ほてはまたかし	アトリエみやま 1785円
森へようこそ	村上康成	ユニオンサービス 1575円
森へようこそ (卓上版)	村上康成	ユニオンサービス 1260円
14ひきのカレンダー	いわむらかずお	童心社 1600円
北アルプス光彩夢幻	白旗史郎	ユニオンサービス 1890円
Garde Flowers	前田まゆみ	ユニオンサービス 1365円

The Secret Garden 秘密の庭	様々な場所の庭を紹介	Workman 2015円
Original Peter Rabbit ピターラビット	定番のピーターラビット シール付き	Viking 1680円
Flower Fairies 花の妖精		1890円
IM GARTEN 庭で	庭に咲く花など身近な自然を描 いている (ドイツ)	Heye 2190円
A Gathering Flowers フランスの慕溪か	16世紀のFlorilegiaに掲載の花 の絵縦長予定表	Pomegranate 2350円
Monet's Passion Gardens at Giverny モネの庭で	モネの庭のの四季	Pomegrana 2350円

輸入カレンダー
入荷分だけ掲載。在庫が店頭が無い場合は取り寄
せませす。

クリスマス用プレゼントの玩具
の予約賜ります!

十一月十五日(火)〜十二月十一日(日)まで予約の方は一割引(ゲームや積み木など玩具はすべて)きとさせていただけます(カルタや本などは割引できません)

「こどものとも」五十周年記念出版の紹介と予約受付

来年三月で「こどものとも」が六百号を迎えることを記念して、福音館は記念出版を幾つか出します。

1 「おじいさんが かぶをつえました」月刊絵本「こどものとも」50年の歩み
十二月上旬出来予定 2625円(消費税込み)

この本で、これまで出された600冊を紹介!

2 「ごんには おてがみです」1680円(2月上旬予定)「ぐりとぐら」「だるまちゃん」「ばばあちゃん」などの「こどものとも」のなかまたちからあなたへ手紙が届きます。配達するのは勿論「ゆうびんやさんのホネホネさん」ですって!

3 「こどものともセレクション」読者の要望の強い十五冊を「こどものとも」のなかから復刊します。詳しくはピッポのホームページに載っています。

4 「がんばれさるのさらんくん」これは長新太さんのデビュー作で、限定復刊だそうです。詳しくはやはりピッポのホームページに掲載済みです。

840円